

区民体育祭大会規定

本大会は公認野球規則、及び全軟連規定を適用。但し次の規定を優先する。

1. ベンチは、組合せ番号の若い方を一塁側とする。先攻、後攻はトスにて決める。
2. 試合時間は、高学年の部6回戦1時間20分、低学年の部5回戦1時間10分とする。
(プレーボールの後に、両チームへ必ず開始時間を伝える事とする)
時間を過ぎて新しい回には入らない。表の攻撃で時間が来た場合は(先攻チームが勝っている時)、裏の攻撃までやる事とする。裏の攻撃で(後攻チームが勝っている時)時間が来た時は、アウトカウントに関係なくその打者で終了する事を、球審は宣告しなければならない。
3. 参加資格は、区内に活動拠点を置く学童軟式野球チームとし、高学年の部は6年生以下、低学年の部は4年生以下で編成し、大会前に登録のある単独チームとする。尚、補強は認めないが、単独で編成できないチームは、合同チームによる参加を認める。
不正出場その他規則違反に対しては、連盟規定により処理する。
4. 延長戦は行わず、試合時間を超えて同点の場合は抽選とし、試合時間内に規定回が終了し同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は1イニングとし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝負を決定する。特別方式はノーアウト1・2塁、継続打順で行う。
5. コールドゲームについては、3回10点差、4回以降7点差、及び降雨・日没により4回以降継続不可能となった時とする。正式試合の成立は、高学年の部は4回完了時、低学年の部は3回完了時とする。
6. 投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティは競技者必携を参照する。
7. ボークは、高学年の部は1回目から適用する。低学年の部は注意とする。(但し、攻撃側の不利益は排除する。)
8. 用具については、打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用し、捕手はプロテクター、レガード、ファウルカップ、スロートガード付きマスク、ヘルメットを着用の事。ハイコンバットを含むすべての用具は、JSBBのマークの入ったものを使用する事。
9. 抗議のできる者は、監督、当該選手とする。但し、判定についての抗議は認めない。
10. 試合開始予定時刻30分前に、大会本部にメンバー表3枚を提出し、検印を受けた後、1枚をチーム控えとして返却する(残りの2枚は、対戦チーム用と本部用とする)。試合予定時間30分前に大会本部へメンバー表を提出されなかった場合、または試合開始時刻予定に集合しないチームは不戦敗とする。
11. 試合中は、監督に限りグラウンドに出て指示する事が出来る。監督及びコーチは、グラウンド内でグラブの使用を禁止とする。保護者はグラウンドに入れない。
12. 背番号は、選手0~99(主将10)の25名以内、監督30、コーチ29、28番。登録は男女を問わない。
13. ベンチ入りは代表者、監督、コーチ2名、スコアラー(チーム帽子着用)、健康管理者2名以内(チーム帽子着用)、計7名以内と登録選手25名までとする。
14. グラウンドルールは、担当審判員の指示に従う。
15. メガホンの使用を禁止とする。
16. 使用球は、ナガセケンコーボールJ号とする。
17. 高学年の部は、塁間23m・投本間16m、低学年の部は、塁間21m・投本間14mとする。

18. 試合中、又は試合会場への往復の事故について、主催者側は一切責任を負いませんので、ご注意の上参加ください。
19. 試合会場に設置してある「AED」の場所を、試合前に確認をすること。

☆☆

公式野球大会注意事項

- (1) 高学年の部は6回戦とし1時間20分（低学年の部は5回戦とし1時間10分）を超えて、新しいイニングに入らない。
- (2) 試合開始時間については、大会本部もしくは、各面の責任審判員が管理し、両チームに試合開始時間を通告することとします。
- (3) 試合制限時間に達した時は、球審が両チームに通告いたします。

【ケース1】〔Aがリードの4回表に1時間20分が経過した場合〕

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	2	3	2	■			7
B	3	2	1				6

※4回裏の攻撃まで行う。（正式試合の5回均等回完了以前に時間制限に到達したため。）

【ケース2】〔Bがリードの5回裏の攻撃中に1時間20分が経過した場合〕

チーム	1	2	3	4	5	6	計
A	0	2	0	0	1		3
B	0	2	0	2	■		4

※1時間20分を超えた時点で試合終了となるが、球審その時の打者の打撃中にその旨を両チームに通告し、この最後の打者の記録まで有効とする。

2024. 5. 1

杉並区軟式野球連盟学童少年部連絡会